

平成12年度試験研究成果

区分	普及	題名	品種 早生水稲良質良食味と耐冷性を兼ね備えた「岩南16号」			
<p>[要約] 水稲「岩南16号」は、出穂期・成熟期ともに「たかねみのり」並～やや遅く、「あきたこまち」より早い「早生の中」に属する粳米である。耐冷性は極強で「たかねみのり」より優り、収量性は「たかねみのり」、「あきたこまち」よりやや多収。玄米品質は「たかねみのり」より明らかに優り、「あきたこまち」並～やや優る。食味は「たかねみのり」より明らかに優り、「あきたこまち」並に良好。</p>						
キーワード	品種候補	粳米	岩南16号	県北農業研究所 農産部	やませ利用研究室 水田作研究室 銘柄米開発研究室	

1. 背景とねらい

昭和60年に奨励品種に編入された「たかねみのり」は、高冷地を除く県中・北部並びに北部沿岸全域を適応地帯として栽培され、平成2年度に作付面積8,483haに達した。その後、産地間競争が激化する中、販売条件は非常に厳しい状況となり、平成12年度の作付面積は1,541haにまで減少した。

この間、売れる品種への作付が集中し、早生地帯では「あきたこまち」の“山登り”などの適地外作付が増加している現状にある。

適地適作による産米品質の一層の向上のため、「たかねみのり」熟期で、「あきたこまち」並の食味を持つ耐冷性に優れた良食味の早生品種が早急に求められている。

「岩南16号」が、「たかねみのり」並～やや遅い熟期で、品質・食味が明らかに優れ、早生の粳米として有望であることからその特性を紹介する。

2. 技術の内容

(1) 来歴

「岩南16号」は平成3年に旧岩手県立農業試験場県南分場において、早生の粳米品種の育成を目標として「ひとめぼれ」を母とし、「東北141号(後の「こころまち」)」を父として人工交配を行った雑種から育成された。

(2) 特性の概要(表1)

- ア. 「岩南16号」の出穂・成熟期は「たかねみのり」並～やや遅く、「あきたこまち」より早い「早生の中」。稈長は「たかねみのり」よりやや長く、「あきたこまち」並。穂長は「たかねみのり」並で、「あきたこまち」よりやや長い。穂数は「たかねみのり」、「あきたこまち」より多い。
- イ. 草型は“偏穂数型”で、耐倒伏性は「たかねみのり」よりやや劣り、「あきたこまち」よりやや強い“中”。稈の太さは「たかねみのり」並。稈質は「たかねみのり」よりやや柔らかい“中”。芒の多少と長短は“やや少・やや短”であるが、「たかねみのり」、「あきたこまち」に比較して多くて長い。ふ先色は黄白、着粒密度は“やや疎”、脱粒性は“難”。
- ウ. 玄米千粒重は「たかねみのり」並～やや小さく、収量性は「たかねみのり」、「あきたこまち」よりやや多収。
- エ. 玄米の外観品質は「たかねみのり」より優り、「あきたこまち」並～やや優る“上中”。
- オ. いもち病真性抵抗性遺伝子型は“+”と推定され、圃場抵抗性は葉いもちが“中”、穂いもちが“強”。
- カ. 穂発芽性は“やや難”。
- キ. 障害型耐冷性は“極強”で「たかねみのり」より優る。
- ク. 食味は「たかねみのり」より明らかに優り、「あきたこまち」並の“上下”。(図1)

3. 普及上の留意事項

- (1) 耐倒伏性が「たかねみのり」に比べやや劣るので、基肥は当面「たかねみのり」並からやや減肥とする。
- (2) いもち病真性抵抗性遺伝子型は“+”と推定され、圃場抵抗性は葉いもちが“中”、穂いもちが“強”であり、いもち病の基本防除が必要である。
- (3) 刈取時期は当面積算平均気温(アメダス値)で950～1,100、黄化率90%前後を目安として刈り取りを行う。

4. 技術の適応地帯

栽培適地は、標高240m以上～標高350m以下及び北部の標高240m以下を含めた約15,000haのうち、「かけはし」の適応地帯を除く3,000～4,000haを普及見込み面積とする。

5. 当該事項に係る試験研究課題

- [ 水稲2 ] - 1 環境負荷の少ない良質・良食味・耐病性安定生産品種の開発
- [ 水稲2 ] - 6 - ( 1 ) 奨励品種の選定
- [ 水稲4 ] - 1 - ( 2 ) - ア - ( ア ) 「岩南16号」の栽培特性

6. 参考文献・資料

- ・平成10年度 水稲新配布系統成績書(2) 岩手県農業研究センター
- ・岩手県農業研究センター 平成10~12年度試験成績書(一部未定稿)
- ・岩手県農業研究センター 県北農業研究所 平成10~12年度試験成績書(一部未定稿)

7. 試験成績の概要

表1. 特性の一覧表

系統名	岩南16号 交配組合せ			ひとめぼれ/東北141号, ころも		
特性	長所: 玄米品質、食味、耐冷性は“極強”			短所: 圃場抵抗性は葉もちが“中” 耐倒伏性は“中”		
採用県及び普及見込み面積	岩手県 3,000~4,000 ha					
調査地	県北農業研究所			現地試験(奨決)		
調査年次	平成10~12年			平成11~12年		
系統名・品種名	岩南16号	たかねみのり	あきたこまち	岩南16号	たかねみのり	あきたこまち
早晩性	早生の中	早生の中	中生の早	早生の中	早生の中	中生の早
草型	偏穂数型	偏穂数型	偏穂数型	偏穂数型	偏穂数型	偏穂数型
出穂期(月日)	8月4日	8月3日	8月7日	8月1日	8月1日	8月3日
成熟期(月日)	9月20日	9月19日	9月23日	9月12日	9月11日	9月16日
稈長(cm)	75.5	73.6	75.9	81.9	81.0	84.4
穂長(cm)	16.9	16.8	16.7	18.0	17.9	17.5
穂数(本/m <sup>2</sup> )	436	388	412	490	419	460
芒の多少・長短	やや少・やや短*	少・短	稀・短	-	-	-
ふ先色	黄白	黄白	黄白	-	-	-
脱粒性	難	難	難	-	-	-
耐倒伏性	中	やや強	中	-	-	-
穂発芽性	やや難	難	難	-	-	-
耐冷性	極強	やや強	中	-	-	-
耐病性	+	Pi j	Pi a, i	-	-	-
真性葉穂	中強	やや強強	やや弱やや弱	-	-	-
玄米収量(kg/a)	55.9	53.0	53.3	62.7	61.2	58.9
対標準比	106	(100)	101	102	(100)	(96)
玄米千粒重(g)	22.7	22.8	21.7	23.0	23.2	22.5
品質(検査等級)	1.5	2.2	2.1	3.2	3.1	3.2

注1) 標準区の結果

注2) \*: 「岩南16号」の芒は、「たかねみのり」、「あきたこまち」に比べて多くて長い。

注3) 品質は、検査等級による評価で、検査等級を1上~3下、規格外とし、それぞれ1、~9、10点とした場合の平均値である。

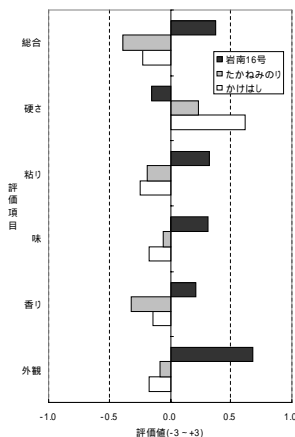


図1. 食味官能試験結果

注1) 基準品種: 「あきたこまち」

注2) 供試サンプル: 県北農業研究所、本検標肥区産、1999~2000年の2回平均。



図2. 「岩南16号」の栽培適地  
注1) 斜線部: 栽培適地地帯